

## 平成23年度第3四半期報告の概況について

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 山本 幸央）の平成23年度第3四半期報告の概況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。なお、数値の詳細は、本日付ニュースリリース「平成23年度第3四半期報告」をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

### 【契約の状況（個人保険および個人年金保険）】

- ◇ **新契約年換算保険料**は、販売を強化している総合保障型商品の**新契約件数は増加したものの、一時払終身保険の販売が減少したことを主因に、前年同期比5.6%減の213億円**となりました。
- ◇ **解約・失効年換算保険料**は、契約ご加入後のお客さまの満足度向上を図るためコミュニケーション強化に取り組んできた結果、前年同期比**10.0%減の200億円**、**解約・失効率は、前年同期から0.24ポイント改善の3.86%**となり、引き続き改善傾向が続いております。
- ◇ **保有契約年換算保険料**は、解約、失効、満期等による減少を新契約でカバーできず、前年度末比**2.3%減の5,390億円**となりましたが、減少のペースは着実に鈍化しております。

### 【損益の状況】

- ◇ **保険料等収入**は、一時払終身保険の販売減少および平準払商品の保有契約減少を主因に、前年同期比**9.8%減の4,359億円**となりました。
- ◇ **基礎利益**は、変額年金保険等の最低保証に係る責任準備金の繰入負担が増加したこと等により、前年同期から**23億円減の11億円**となりました（**最低保証に係る要因を除いた基礎利益**は、前年同期から**25億円増の201億円**となりました）。また、最低保証に係る責任準備金の変動に対してはデリバティブを用いてヘッジしており、ヘッジ益をキャピタル損益として計上した結果、**経常利益**は前年同期から**41億円減の208億円**、**四半期純利益**は法人税率の変更等に伴う繰延税金資産の取崩しによる費用負担等により、前年同期から**109億円減の12億円**となりました。

### 【主要指標の状況】

- ◇ **有価証券全体の含み損益**は、前年度末から**354億円改善の973億円**となりました。
- ◇ **ソルベンシー・マージン比率**は、資産運用リスクが減少したことを主因として、前年度末から**19.7ポイント上昇して728.1%**となりました。また、**実質純資産額**は、有価証券全体の含み損益が改善したことにより、前年度末から**330億円増の4,182億円**となりました。

【参考】**新基準によるソルベンシー・マージン比率**は、前年度末から**17.4ポイント上昇して443.2%**となりました。

## 1. 契約の状況 [個人保険+個人年金保険]

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
新契約年換算保険料	226	213	▲ 5.6
うち一時払終身保険	39	29	▲ 24.0

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
解約・失効年換算保険料	222	200	▲ 10.0
解約・失効率 [年換算保険料ベース]	4.10	3.86	0.24ポイント改善

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末	前年度末比
			増減率
保有契約年換算保険料	5,514	5,390	▲ 2.3

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。  
 2. 新契約には、転換による純増加を含んでいます。  
 3. 解約・失効の数値は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出しています。

## 2. 損益の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度 第3四半期累計期間	平成23年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
基礎収益	6,303	6,353	+ 0.8
うち保険料等収入	4,830	4,359	▲ 9.8
基礎費用	6,268	6,341	+ 1.2
基礎利益 ①	34	11	▲ 66.4
逆ざや額	▲ 462	▲ 450	▲ 2.6
危険差益	485	458	▲ 5.6
うち最低保証に係る要因 (注) ②	▲ 141	▲ 190	+ 34.2
費差損益	11	3	▲ 70.1
キャピタル損益	202	200	▲ 0.8
臨時損益	12	▲ 4	—
経常利益	249	208	▲ 16.7
特別利益	28	4	▲ 84.2
特別損失	29	15	▲ 45.4
契約者配当準備金繰入額	113	112	▲ 0.6
税引前四半期純利益	135	83	▲ 38.0
法人税等	13	71	+ 413.6
四半期純利益	121	12	▲ 89.9

基礎利益(最低保証に係る要因を除く) ①-②	176	201	+ 14.4
---------------------------	-----	-----	--------

- (注) 「最低保証に係る要因」は、変額年金保険等における次の金額の合計額です。  
 ・最低保証に係る一般勘定の責任準備金の繰入・戻入額  
 (平成22年度第3四半期: ▲123億円、平成23年度第3四半期: ▲218億円)  
 最低保証に係る一般勘定の責任準備金とは、変額年金保険等の最低保証リスクに備えて積み立てている準備金です。  
 最低保証に係る一般勘定の責任準備金を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る一般勘定の責任準備金を戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になります。  
 ・最低保証に係る保険料収入から、年金開始等に際して最低保証のためにてん補した額を控除した額  
 (平成22年度第3四半期: ▲18億円、平成23年度第3四半期: 28億円)

## 3. 主要指標の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成22年度末	平成23年度 第3四半期会計期間末	前年度末比
			増減額
ソルベンシー・マージン比率	708.4	728.1	+ 19.7ポイント
(参考)新基準によるソルベンシー・マージン比率	425.8	443.2	+ 17.4ポイント
実質純資産額	3,851	4,182	+ 330
有価証券の含み損益(一般勘定)	619	973	+ 354
総資産	72,234	71,058	▲ 1,175

以上